

かつてないスケールと空前のミステリーが支配する映画史上最大のスペース・トリック戦争巨篇!

原子力空母ニミッツ vs. 零戦

世界最強の原子力空母ニミッツは未知の青白い稲妻と共に消滅した
そして1941年12月7日— 零戦が飛来する真珠湾沖を航行していた —



THE FINAL
COUNTDOWN

製作ピーター・ビンセント・ダグラス 監督ドン・テラー 原案トーマス・ハンター/ピーター・パウエル
脚本テッド・アンブローズ/ゲアリー・テイビス 撮影協力アメリカ海軍省、グラマン・エアロスペース社
セントラ盤<東芝EMIイースト・ワールド> 松竹・富士映画共同配給

<カラー作品>アメリカ映画 ■ 超ステレオ音響

ファイナル
カウントダウン



ジェームス・
ファレンチノ



カーク・
ダグラス



マーチン・
シーン



キャサリン・
ロス

好評前売中 特別鑑賞券 12000円(一般) 10000円(大・高・中) (当日一般15000円、大・高生13000円、中学11000円の処)

7月5日(土)よりロードショー

新宿京王 / 浅草ロキシー / 渋谷東急 / 川崎スカラ座 / 相鉄文化 / 上野東急 / 他全国一斉拡大公開 / 新劇

一瞬の青白い稲妻の中に
歴史の逆転を見た



ファイナル
カウントダウン

※解説※

製作費2,000スケールを投入、空前のスケールと世界史をも書き替えるほどの度胆を抜くアイデアで描く、アメリカ映画、最高最大のSF戦争超大作。1980年、ハワイ沖を悠然と航行する原子力攻撃空母ニミッツ号。超最新兵器を満載して航行するその雄姿はまさに世界最強の航空母艦というにふさわしいものであった。帰艦する超音速爆撃機F14トムキャットをブリッジから見守っている指令長官のもとに、オブザーバーとして国防省から一人の男が乗りこんできた。その時の凄惨な突風に見舞われ、未知の青い光線がニミッツ号を包み込む。耳をつんざく高周波、驚くべき無重力状態が乗組員5,300名に襲いかかる…ニミッツ号は巨大なタイム・スリップに出会ったのだ…一瞬の後、そこは1941年の日本海軍による真珠湾奇襲時のハワイ沖に大変貌していた! 上空には数百機のゼロ戦が真珠湾を目指している。最新兵器を満載したニミッツ号から、F14がゼロ戦編隊に向かって飛びたつてゆく……

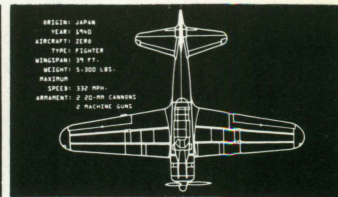
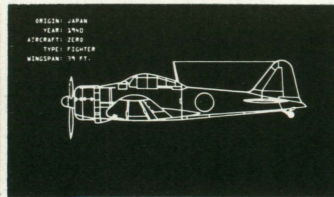
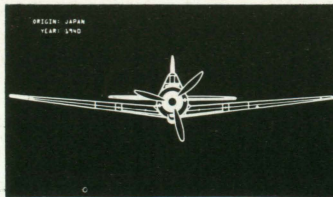
今年のカヌ映画祭において、SF特殊効果をふんだんに盛りこんだその未曾有なスケールの企画にセンセーショナルな話題を集中した、この夏、最高・最大の話題大作。「未知との遭遇」、「スターウォーズ」のSFロマンの時代は去った。80年、それは「リアリティSF」の幕開けだ!



“原子力空母ニミッツ”とは……

この映画の一方のヒーローとも言うのが、世界最大の原子力攻撃空母ニミッツである。全長は東京タワーにも匹敵する333メートル。高さは32階建ての高層ビルに相当。乗組員総数5,300名。排水量91,400トン。飛行甲板面積は後楽園球場の約2倍で18,596㎡。

アメリカが誇るマッハ2のF14トムキャット他超最新鋭機95機を搭載、飛行機用のエレベーターは4機、武器用エレベーターは10機と想像を絶するものがあり、その原子炉は燃料補給なしで13年間巡航可能である。そしてニミッツの攻撃能力は全地球の85%を撃破できる。



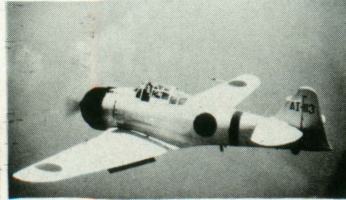
SIKORSKY SH-3D シー・キング



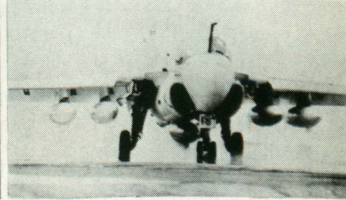
A-7 コルセア2



F-14 トムキャット



零式戦闘機=ゼロ戦



A-6E イントルダ

…… スペース・トリックの中で原子力空母ニミッツ対零戦の戦いが始まった! ——